

企画展「森に棲む—妖精と精霊—」に寄せて

文学の「言葉」だけの表現では、目に見えない。「形」や色で表現して示されれば、見えてくる。「詩歌」を言葉だけで表現するより「彫刻」で示されると、納得は強まる。シェイクスピアやWBイエイツが言わんとすることを、戸田先生に彫刻で見せられると、「なるほど」と何度も頷かされた。今回の展覧会「森に棲む—妖精と精霊—」二人展は、戸田先生の蠟型ブロンズの師である彫刻家北沢努氏の、木の自然な形態を生かした彫像とユニーク且つ巨大なブロンズ像が出品され、前回の人形彫刻戸田和子展「神秘的な森の精霊たち」と“森”で連なる気がしている。その森を早く、さ迷いたいものと、今から楽しみである。井村君江(金山町妖精美術館館長)



北沢努

1991年茨城大学大学院修了、1998年第7回現代日本具象彫刻展、2001年洞爺村国際彫刻ビエンナーレ、2010年第10回大分アジア彫刻展、2011年第24回UBEビエンナーレにて宇部マテリアルズ賞、2015年第61回一陽展にて土方明司賞、2024年第70回一陽展にて野外彫刻賞



戸田和子

2001年「ima展」文部科学大臣奨励賞、個展 CFMギャラリー(New York Soho)、2004年SNBA展Sasakawa賞「予期」、2005年「われらの時代」展 水戸芸術館、2007年SNBA展内で個展、2008年欧州現在芸術サロン(仏・ロワール)県議会議長賞、金山町上井草橋に妖精像(予期)設置、2017年カルーセル・デュールブルにて福王寺一彦氏と二人展 審査員賞、2024年「Cazuko Art 展」水戸市民会館、2025年妖精美術館にて個展(2007年・2018年にも開催)



妖精美術館

主催 福島県金山町
 後援 福島県金山町教育委員会
 福島県金山町中央公民館
 うつのみや妖精ミュージアム
 国際現代美術家協会
 茨城一陽会
 画廊・珈琲Zaroff
 協力 フェアリー協会
 (有)アートワークス



車で 只見線津川口駅よりタクシー1.1km
 ・会津田島より国道400号を5.1km
 ・磐城自動車道会津坂下ICより国道252号を2.4km
 ・新藤原小出より国道252号を9.7km